

## 令和2年度 島根県流域下水道事業会計決算の概要

### 1 事業の概要

流域下水道事業は、公衆衛生の向上、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全に向けたサービスを提供しています。

東部処理区は、松江市と安来市を対象としており、昭和49年度に事業認可を受け用地取得を開始し、昭和50年度より工事に着手、昭和56年4月より供用を開始しています。

また、下水処理後の水（処理水）を閉鎖性水域である中海に放流するため、平成6年から窒素・リンの除去を伴う高度処理を行っています。

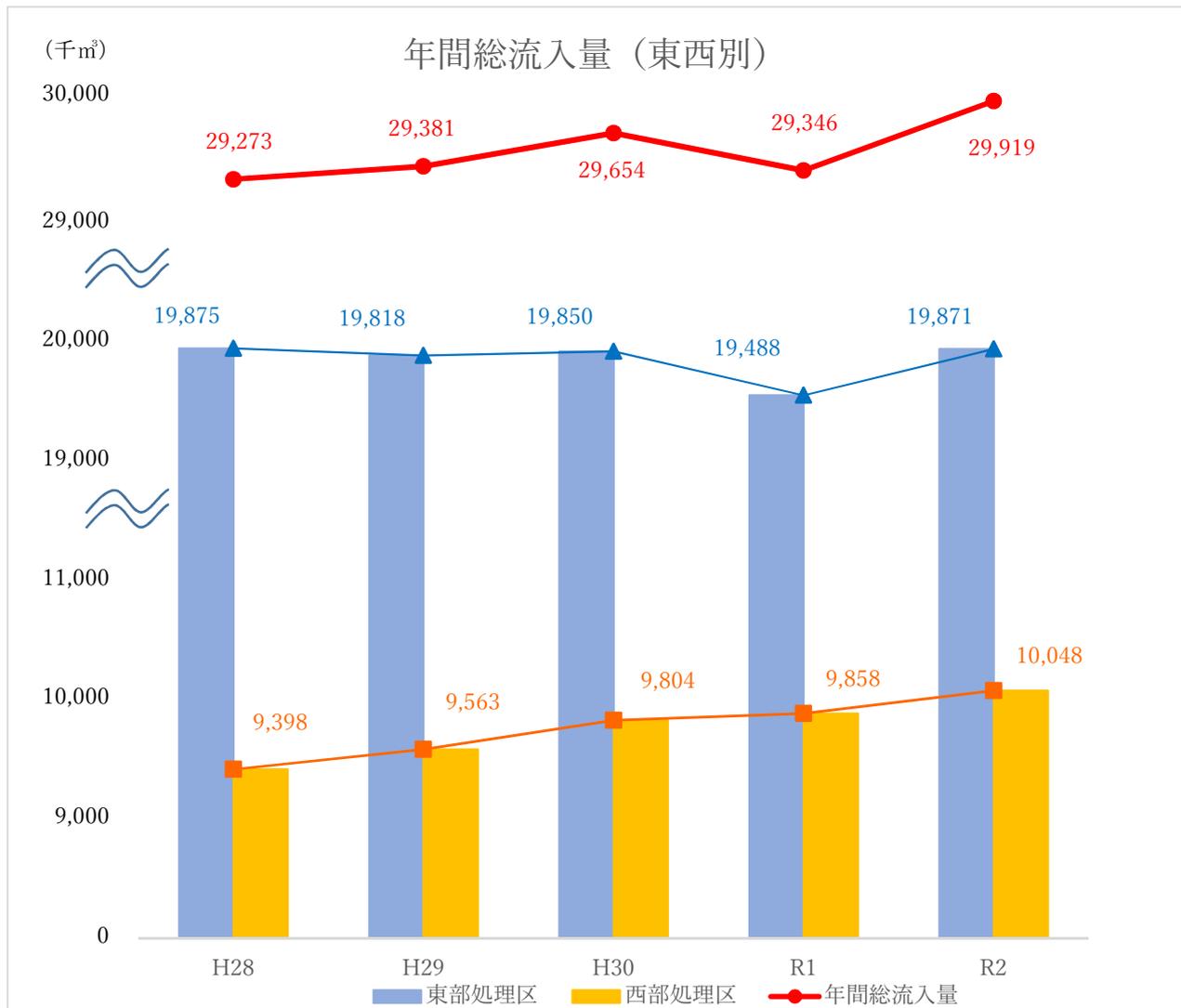
西部処理区は、松江市（旧宍道町）と出雲市を対象としており、昭和55年度に事業認可を受け用地取得を開始し、昭和59年度から工事に着手し、平成元年1月に供用を開始しています。

令和2年4月1日から地方公営企業法の一部（財務規定等）を適用し、令和2年度決算が流域下水道事業会計（公営企業会計）として初年度の決算となります。

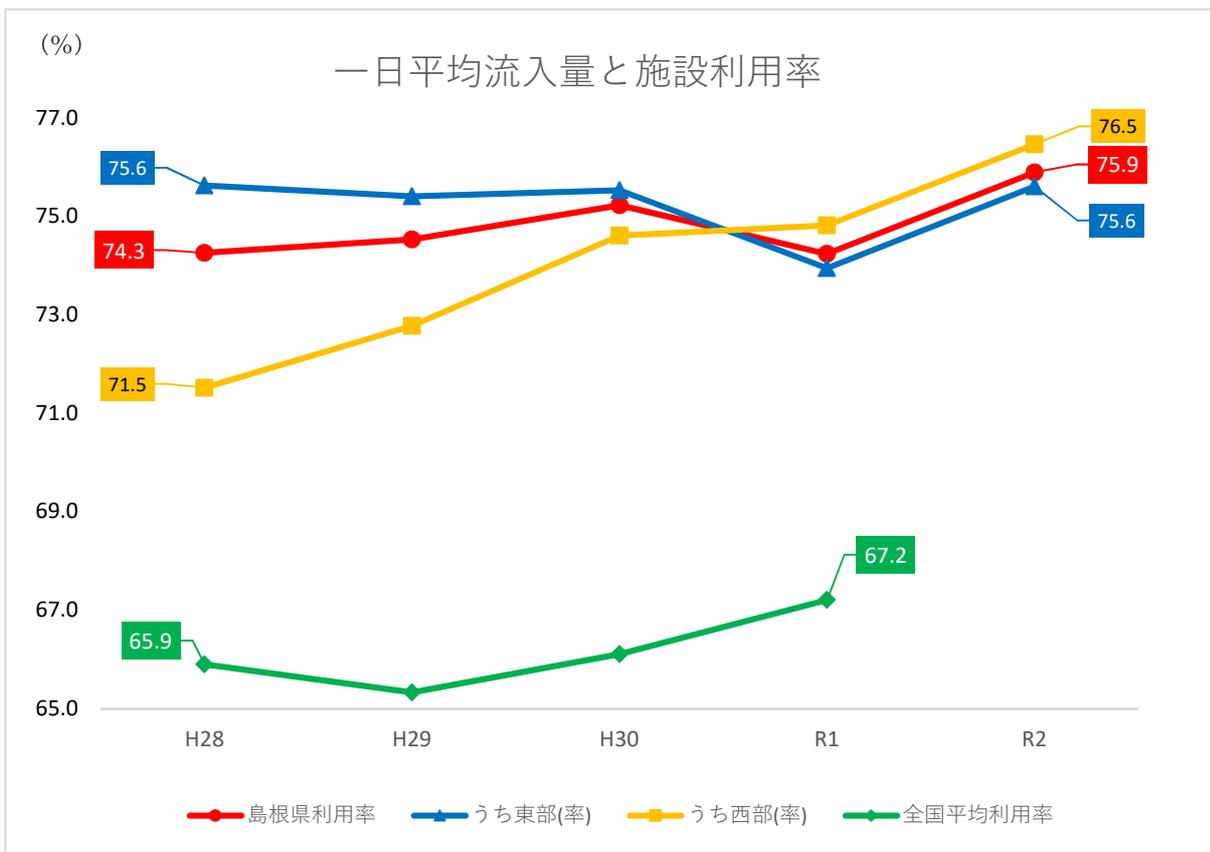
### 2 汚水処理状況

令和2年度は、東部処理区では19,871,363 m<sup>3</sup>（日平均54,442 m<sup>3</sup>）、西部処理区では10,047,736 m<sup>3</sup>（日平均27,528 m<sup>3</sup>）の合計29,919,099 m<sup>3</sup>の汚水を処理しました。

なお、過去5年間の年間汚水処理状況の推移は次のグラフのとおりです。



また、1日平均流入量から計算した施設利用率の推移及び1日平均流入量（東部・西部別）は次のグラフ及び表のとおりです。



○施設利用率 = 1日平均流入量 ÷ 1日最大処理能力(※) × 100

(※)1日最大処理能力は、全体が 108,000 m<sup>3</sup>で、うち東部が 72,000 m<sup>3</sup>、うち西部が 36,000 m<sup>3</sup>

○全国平均利用率 出典：総務省 都道府県の「経営比較分析表」

R2年度の全国平均利用率は総務省から公表されたのち追記する予定です。

一日平均流入量

(単位：m<sup>3</sup>)

	H28	H29	H30	R1	R2
一日平均流入量	80,200	80,495	81,245	80,181	81,970
うち東部処理区	54,453	54,296	54,385	53,245	54,442
うち西部処理区	25,747	26,199	26,860	26,936	27,528

### 3 損益計算書

- ・流域下水道事業収益は、営業収益(1,879,792千円)、営業外収益(2,603,319千円)を合わせた総収益で4,483,111千円となりました。
- ・流域下水道事業費用は、営業費用(4,165,553千円)、営業外費用(75,537千円)、特別損失(57,184千円)を合わせた総費用で4,298,274千円となりました。
- ・これにより当期純利益は184,837千円となりました。

(単位：千円)

勘定科目	R 2 決算 (A)	R 1 決算 (B)	比較増減	
			(A)-(B)	(A)/(B)
営業収益	1,879,792	—	—	—
維持管理費負担金	1,879,792	—	—	—
営業費用	4,165,553	—	—	—
管渠・ポンプ場及び処理場費	1,507,066	—	—	—
総係費	152,020	—	—	—
減価償却費	2,487,716	—	—	—
資産減耗費	18,751	—	—	—
<b>営業損失</b>	<b>2,285,761</b>	—	—	—
営業外収益	2,603,319	—	—	—
受取利息及び配当金	7	—	—	—
他会計補助金	289,166	—	—	—
国庫補助金	12,000	—	—	—
長期前受金戻入益	2,213,638	—	—	—
その他営業外収益	69,575	—	—	—
使用料	18,933	—	—	—
営業外費用	75,537	—	—	—
支払利息及び企業債取扱諸費	75,537	—	—	—
<b>経常利益</b>	<b>242,021</b>	—	—	—
特別損失	57,184	—	—	—
過年度損益修正損	57,184	—	—	—
<b>当年度純利益</b>	<b>184,837</b>	—	—	—
<b>総収益</b>	<b>4,483,111</b>	—	—	—
<b>総費用</b>	<b>4,298,274</b>	—	—	—

※令和2年度より公営企業会計へ移行したため前年度の値はありません。

#### 4 貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：千円）

勘定科目	期末 (A)	期首 (B)	増減
			(A) - (B)
固定資産	42,325,534	43,225,775	▲ 900,241
有形固定資産	41,565,219	43,030,424	▲ 1,465,205
建設仮勘定	677,827	126,152	551,675
無形固定資産	82,488	69,199	13,289
流動資産	1,285,163	1,085,717	199,446
現金預金	801,544	911,076	▲ 109,532
未収金	458,889	174,641	284,248
前払金	24,730	0	24,730
<b>資産合計</b>	<b>43,610,697</b>	<b>44,311,492</b>	<b>▲ 700,795</b>
固定負債	6,498,315	6,725,867	▲ 227,552
企業債	6,315,903	6,213,157	102,746
引当金	7,201	0	7,201
預かり金	175,211	512,710	▲ 337,499
流動負債	1,295,429	1,236,762	58,667
企業債	519,982	770,779	▲ 250,797
他会計借入金	0	70,407	▲ 70,407
未払金	700,039	370,576	329,463
引当金	12,908	0	12,908
預かり金	62,500	25,000	37,500
繰延収益	32,419,495	33,136,239	▲ 716,744
長期前受金	32,419,495	33,136,239	▲ 716,744
<b>負債合計</b>	<b>40,213,239</b>	<b>41,098,868</b>	<b>▲ 885,629</b>
資本金	1,061,526	1,061,526	0
固有資本金	1,061,526	1,061,526	0
剰余金	2,335,932	2,151,095	184,837
資本剰余金	2,151,095	2,151,095	0
利益剰余金	184,837	0	184,837
<b>資本合計</b>	<b>3,397,458</b>	<b>3,212,621</b>	<b>184,837</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>43,610,697</b>	<b>44,311,489</b>	<b>▲ 700,792</b>

※令和2年度より公営企業会計へ移行したため、増減は前年度期末ではなく、令和2年4月1日における開始貸借の値と比較しています。

#### ■ 令和2年度中に行った主な工事等は次のとおりです。（税込）

- ・西部 防災安全交付金（管渠）管更生工事 168,609 千円
- ・東部 汚泥濃縮脱臭（機械設備）改築工事 168,324 千円
- ・東部 特高受変電設備更新（中国電力工事費負担金） 190,080 千円
- ・東部浄化センター2系水処理施設リフレッシュ工事 105,983 千円